

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

オンライン会議(ビデオ/Web/音声)システム市場専門トレンドワッチ

Vol.28 No.13 2026年7月15日

製品サービス動向-国内

■NanoHuman：リアルタイムに会議を支援するAIエージェント「SuperIntern」、会議データをチームの資産にできる「Teamプラン」を提供開始

(PRTIMES:6月24日)

NanoHuman 株式会社
(<https://www.nanohuman.co.jp/>) (東京都中央区)は、会議AIエージェント「SuperIntern」において、企業・チームでの利用に最適化された新プラン「Teamプラン」を正式にリリースした。

SuperIntern はこれまで、リアルタイム議事録、AIチャットによる発言・リサーチ支援といった機能を通じ、グローバルで多くのビジネスパーソンに利用されてきたという。



Web会議・対面会議を問わず、会議Botなしで使えるAIエージェント、リアルタイムで会議を支援できる (NanoHuman)

一方で、「閲覧範囲を制限しつつ、議事録を組織内のメンバーと共有したい」「退職時に会議データを持ち出されたくない」「ユーザの追加・削除や支払いを一括管理したい」といった組織導入を前提とした要望を数多くいただいていたという。

今回提供を開始する「Teamプラン」は、こうした企業・チームのニーズに応え、SuperInternを組織の会議AIツールとして安全かつスムーズに導入できる環境を整える狙いがある。

特長としては以下の通り。(1) 会議データをTeamスペースに移動することで、チーム全体で同じ会議データを共有できる。(2) チーム内にある「プロジェクト」機能を用いることで閲覧メンバーの制限も可能となっている。(3) チームで共有されている会議についても、参加できなかった会議や過去の流れも踏まえて確認したい場合にも、AIに質問することですぐにキャッチアップが可能となる。(4) 異動や入退社に伴うユーザの追加・削除、ユーザ権限管理、月ごとのクレジット消費量の管理、支払方法・領収書の管理などを組織で一元的に行うことができる。(5) Workspace配下に保存された会議データは、Privateスペース・Teamスペースいずれに置かれた会議データも全てチームの管理下に置かれる。チームの所有物として安全に管理できるという。

料金プラン。月額5,500円/ユーザ(税込)、月100時間×契約ユーザ数を上限に、チーム内のメンバー間で合算した利用できる。上限を超える場合は、管理者が1時間あたり120円のクレジットを追加購入することで引き続き利用できる。なお、利用枠をチーム全体で柔軟に活用できるため、会議頻度の異なるメンバーが混在する組織でも、無駄なく活用できるという。

Teamプランは、SuperIntern公式サイトから、ワークスペースを作成し、メンバーを招待するだけで即日利用を開始できる。

導入利用動向-国内

■バイキューブ：京王プラザホテルが「テレキューブ」を6台導入

(PRTIMES:7月13日)

株式会社バイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、株式会社京王プラザホテル (<https://www.keioplaza.co.jp/>) (東京都新宿区) が防音個室ブース「テレキューブ」を導入したことを発表した。

東京・新宿に立地し、1971年の開業以来、宿泊・宴会・料飲などを総合的に展開する京王プラザホテルでは、人材育成を経営の重要テーマと位置づけ、その一環として人事制度を改定した。新制度では上司と部下の面談を重視し、頻度を高めて運用する方針。しかし、お客様同線を優先するホテル特有の構造により、もともと会議室や面談スペースの不足が課題となっていた。テレキューブの導入により、大規模な工事を伴わず単能機で個室空間を整備し、面談や会議に集中できる環境を実現した。



テレキューブを導入した京王プラザホテル
(バイキューブ)

ホテルはお客様の同線を優先して設計されるため、

従業員バックヤードが構造的に限られている。事業活動の活発化や Web 会議の浸透に伴い、面談に限らず通常の会議も含めて適切なスペースの確保が長年の課題となっている。

また、1on1 や目標設定面談、キャリア面談、採用面接など機密性が求められる場面で、適切な個室の確保が困難であり、会議の延期や店舗の片隅、事業所での実施を余儀なくされることで本音の対話に踏み込みにくい状況があった。

さらには、通常の造作工事による会議室増設は、設備関連の工事を含めると多額のコストと長い工期を要する。人事制度改定に合わせて短納期で運用を開始する必要があるため工事を伴わない手段が求められていた。

個室ブースの選定にあたっては、営業転用を見据えた高い移設可能性、工事不要で短納期かつ低コストに導入、用途と人数に応じた多彩なサイズラインナップ、高い遮音性と快適な室内環境などの点が評価されたという。

前述の課題を解決するため、京王プラザホテルはバイキューブが提供する防音個室ブーステレキューブを計6台(2人用x3、4人用x2、6人用x1)導入し、以下のようなオフィス環境を確保した。

(1) 誰にも聞かれない遮音空間が常時確保されたことで、1on1 や目標設定面談、キャリア面談、採用面接など多様な面談シーンで安心して活用されている。

(2) 面談以外にも、Web 会議やウェビナーの視聴、担当部署内の小規模な対面ミーティング、国内外の商談など多目的に活用されている。(3) 当初は想定していなかった使い方として、チェーンホテルから会議に來た管理職による臨時執務利用にも広がっている。会議の合間や移動時間の空きに、メール返信や資料作成に集中できる場所として機能している。

導入後は、面談用途に加えて Web 会議や小規模ミーティング、チェーンホテルから來た管理職の臨時執務利用にも広がり、各部屋が高い稼働率で利用されているという。社印からも「集中できる」「会議室の取り合いが解消された」と好評で、面談を重視する人事方

針を支える環境として欠かせない存在になっているという。

＊京王プラザホテル導入事例：

<https://jp.vcube.com/telecube/case/telecube037.html>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー（7月）

「もう音漏れに悩まない！個室ブースの防音体験会!!」「商談を自動採点！ZoomとAIで構築する最強のセールスプロセス」など多数

会場：オンラインセミナー

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999 年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2026年7月15日号おわり

ホームページ: <https://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp